

2015年 春学期 ヨーロッパ文明学科開講科目 授業案内

【専任の先生方】

●ゼミ → 登録は各教員のゼミを選択

1年次：ヨーロッパ文明入門セミナー1

3年次：ヨーロッパ文明セミナー1

4年次：卒業論文1

●ヨーロッパ文明概論

専任教員全員によるオムニバス授業

●平野葉一

ヨーロッパ近代科学 (火1) / 松本俊吉 (金1)	とくに思想的側面に着目しながら科学と人間の関わりを考えるとともに、現代文明における科学の意味について検討することを目的とする。
-------------------------------	---

●中川久嗣

ヨーロッパの戦争と文明 (火2) / 柳原伸洋 (金2)	古代から現代まで繰り返されてきたヨーロッパの戦争の歴史を振り返り、それがヨーロッパ文明の発展・展開においてどのような意味を持つものだったのかを考える。
---------------------------------	---

●金沢百枝

地中海地域研究A (火4)	イタリアの聖堂建築と美術の成り立ちを、イタリア半島にある具体例に沿いながら学ぶ。中世の聖堂建築やその美術を主とするが、それらを理解するための基礎となる古代世界についても学ぶ。
------------------	---

ヨーロッパ芸術論A (火金3)	美術作品が作られた歴史的・思想的背景とあわせて、鑑賞のポイントを解説してゆきます。とくに絵画を中心に、歴史画、肖像画、風俗画、風景画、静物画の分野に分けて見てゆきます
--------------------	---

●中澤達哉

東ヨーロッパ地域研究A (火4)	おもにハプスブルク帝国領の東欧に焦点をあて、これを歴史・民族の2つの側面から考察し、東欧の特性を把握します。
---------------------	--

ヨーロッパ民族問題 (火金3)	ナショナリズム、マイノリティ、エスニシティ、宗教、難民、移民、外国人労働者、テロといった複数の問題を、民族問題を切り口に解明していきます。
--------------------	---

●原基晶

ヨーロッパの言語と文化 (火金1)	ヨーロッパにおける言語・社会状況の変遷を通時的に追いかけてながら、状況の変化を反映した言語観、あるいは文学作品などを概観していく。
----------------------	---

●柳原伸洋

西ヨーロッパ地域研究A (月4)	モノ(製品)の成り立ちや発展、そして失敗の歴史を通じて、ドイツ・ヨーロッパの近現代史について学びます。
---------------------	---

ヨーロッパの戦争と文明 (金2) / 中川久嗣 (火2)	上掲、中川先生の講義「ヨーロッパの戦争と文明」と同じ。二つはセットで履修してください。
---------------------------------	---

ヨーロッパ文明特殊講義B (月3)	書籍や映画を用い、ヨーロッパ現代史(ヒトラーとナチズムが中心)について、演習形式で読み解いていきます。エッセイを書く練習もします。
----------------------	---

●河島思朗

ギリシア・ローマの伝統A (火金3)	ヨーロッパ文明の基礎である古代ギリシア・ローマを対象とした学問、西洋古典学とその伝統を学ぶことを目的としています。
-----------------------	---

ヨーロッパ文明特殊講義A (火4)	神話を題材とする『変身物語』を精読することで、ローマの文学(ラテン文学)の専門的な購読の仕方を学びます。
----------------------	--

【非常勤の先生方】

平野陽一

原典と思索
(月4)

古典古代の作家や思想家、とりわけ古代ギリシアの悲劇作家の著した作品を読み進めることで、直接彼らの思想に触れることを目的としています。

ギリシア語入門1
(月3)

古典ギリシア語の基礎的な文法事項を修得するとともに、古代ギリシア人の思想や文化に直接触れてみたいと思います。

川井繁己

西ヨーロッパ地域研究A
(木2)

ヨーロッパ社会に深く根差した、オペラという芸術形式を「疑似体験学習」的に学ぶものである。

イタリア語とイタリア文化1
(月木3)

イタリア語文法に加えて、音楽、美術、都市史、景観等、イタリアが育んできた文化と歴史、日本との関係についてを学んでいく。

徳井淑子

西ヨーロッパ地域研究A
(火3)

ヨーロッパの服飾史から事例を挙げて、ファッションの社会・文化表象について解説する。

ヨーロッパ比較文化論A
(火金2)

ヨーロッパ人に特徴的な色彩感情、すなわち色についてのイメージが、どのように生まれたのかを歴史上の、特に服飾の色を事例として解説する。

近藤喜重郎

東ヨーロッパ地域研究A
(金1)

東ヨーロッパという地域に現れた諸民族と諸国家の歴史を概観するとともに、文明論の特徴を理解する。

井野上眞弓

ヨーロッパ比較文化論B
(水土2)

「生と死の比較文化論」をテーマに、現代文明に生きる私たちの生活に根ざしたより身近な比較文化論を展開していきます。

小椋彩

ヨーロッパ比較文化論B
(火金2)

1920年代以降のベルリンやパリにおける亡命ロシア作家たちの活動を文学、美術、バレエ、音楽、演劇、映画といった広範にわたって検討します。

ポーランド語入門
(火金1)

ポーランド共和国の公用語で、世界中に広がるポーランド亡命社会(ポロニヤ)でも話されているポーランド語を学びます。

余村聡二郎

ヨーロッパ芸術論B
(月木1)

ヨーロッパの歴史の中で、クラシック音楽がどのように生まれ、発展し、そのアイデンティティを確立してきたかを考える。

浅川英理子

ヨーロッパスポーツ文化論
(火金2)

古代の競技会と近代のそれとを比較することにより、オリンピックの抱える問題が普遍的なものかそれとも特殊なものかを考察する。

浅見聡

ヨーロッパ近代論
(月木1)

現代に生きる我々が否応なく身につけている「近代」のスタンスを、思想・歴史・社会の各相から、今一度確認する。

松本俊吉

ヨーロッパ近代科学
(金1) / 平野葉一 (火1)

とくに思想的側面に着目しながら科学と人間の関わりを考えるとともに、現代文明における科学の意味について検討することを目的とする。

永本哲也

キリスト教文化A
(月木4)

主に西欧のキリスト教文化を、通史的に学びます。キリスト教文化と西欧社会の関係を、古代から現代まで概観します。

キリスト教思想
(月木3)

ヨーロッパ文明の基盤となる思想を理解するために、キリスト教を支える主要な考え方はどのようなものだったか、古代から現代まで概観します。

杉山晃太郎

ギリシア・ローマの思想
(火金1)

ヨーロッパ世界の源流の1つである古代ギリシア・ローマ思想の基本的な流れを追うことを目的とする。

杉山晃太郎

ラテン語入門1
(金2)

文字・発音からはじめて、ラテン語の大まかな仕組みを理解し、簡単な文章を、教科書を使いながら読めるようになることを目標とする。